

ここが聞きたい!

いっぱん

平成32年島根県での 全国植樹祭誘致の考えは

村尾明利 議員

町長 県に対し積極的に協力を
していきたい



■ 島根県議会2月定例会において、溝口島根県知事は、平成32年度に全国植樹祭を島根県で開催したいと、所信表明演説された。

全国植樹祭は、毎年春に開催され、国土緑化推進機構と開催都道府県が主催している。

大会式典では、天皇・皇后による「お手植え・お手まき」行事、県内外の参加者による記念植樹、国土緑化運動ポスターコンクール等の表彰行事、大会宣言が行われることが恒例となっており、国民体育大会・全国豊かな海づくり大会と並び「三大行幸啓」の一つに位置付けられている。

開催地については、是

非、奥出雲町において行われるよう名乗りを上げるべきと考える。

古代より歴史と文化を育み「神話とたたら」を標榜する奥出雲町にとってまたとないチャンスで、天皇・皇后両陛下が御来町されれば、そのアナウンス効果は計り知れない全国的なアピールとなる。

「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観」は世界に誇るべき資源として、日本遺産の認定や世界遺産の登録など、夢抱く本町である。古代神々の国島根は、出雲大社など天皇家とのかかわりが深く、天皇皇后両陛下の行幸にふさわしい土地柄とも言える。

■ 今年の長野県の開催計画では、約1万5千人規模の参加を見込んでいる。メイン会場は式典会場、駐車場等、広大な敷地と設備を要し、警備体制や参加者の輸送計画など十分な計画が必要だ。

本町でも、可能な条件

をもとに、メイン会場をはじめ、サテライト会場での関連イベントも含めて、県に対し積極的に協力をしていきたい。



長野県の全国植樹祭PRのHP

■ 島根県の総合戦略の基本目標に「小さな拠点づくり」がある。公民館エリアを基本とし、買い物、金融、医療、介護等の日常生活に必要な機能・サービスの集約を図る「小さな拠点づくり」構想を推進するとしている。

国土交通省の「小さな拠点づくり」ガイドブックには、空き家活用など様々な事例が紹介されている。本町も既存の遊休施設が数多くあり、こ

した土地や建物を再活用し、買い物難民をつくらない小売店、地元産品を生かした6次産業化事業など考えられる。

住民の自発的、自主的な取り組みを行政が支援することによって、新しい地域の活動や雇用が生まれ、集落地域の未来への展望を拓く役割が期待されている。

「奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的目標に組み入れるべきと考えるが、

■ 町としても小さな拠点づくりは地域を維持、活性化していくための非常に有効な手段であると考え、2月開催の自治会長会連合会において、県担当課長を講師に研修会を行った。

遊休施設の貸し出しなどアイデアはいろいろあるかと思うので、9地区それぞれの住民が自発的、自立的に行う活動へ行政が支援し、地域の維持、活性化が進むよう取り組む。